委員会質疑・実績紹介

画像投稿による通報システム「おしえ太郎」の実現

【施策内容】

『画像投稿による通報システム』(道路や公園等の不具合箇所・画像送信フォーム)について、必要であると、委員会で質疑した事により、試験運用を経て、本格運用を開始しました。

【おしえ太郎について】
https://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000483050.html

道路や公園等の不具合箇所があれば、市民の皆さんから、スマートフォン等の端末カメラとGPS機能を利用し、状況を教えてもらう仕組みとなります。

【施策への想い】

これにより、電話連絡や直接役所に来訪していただく手間を省くことも出来ます。さらに画像付きですので、状況を正確に共有することで、素早い対応が出来ると考えております。24時間送信可能ですので、是非、皆さんご活用下さい。

地域活動の物品購入時の支払い方法を改善

【施策内容】

地域活動に関する物品購入の際、クレジットカードの使用が、多くの区で認められていない現状がございました。
近年、全国的に広がるキャッシュレス化の流れに伴い、支払い方法の選択肢の追加を対応すべきと委員会で質疑を行い、使用出来るように対応する事となりました。

【施策への想い】

民間企業だけでなく、自治体においても積極的にキャッシュレス化を推進することで、地域の皆さんの支払い方法のニーズにも対応できるのではないかと考えております。何より地域の方からの問題提起に対応出来て、良かったと思っております。

露店営業における食品衛生法上の規定について要綱改正

【施策内容】

露店での、飲み物への氷の使用について、東京都、兵庫県、徳島県などでは認められているが、大阪府では認められておらず、自治体によって差が見られる状況でした。近年、袋に入ったロック氷など、衛生的な氷が市販され手軽に入手できる状況や、「かき氷」に使用する氷は認め、飲料への氷の使用は認められないことに矛盾を感じており、規制を見直す為、大阪市から大阪府に働きかける様、委員会質疑にて強く要望しました。これにより、健康局も規制を見直すべきと考え、飲料への氷の使用が認められるよう、大阪市から大阪府に対して働きかけ、大阪府が氷の使用を認めるために必要な衛生的な取扱の方法や設備の条件について検討しておりました。
そして、露店での氷の使用について、大阪市から大阪府に対して働きかけた結果、大阪府が洗浄設備としてシンクを設置する事を要件として、飲料に市販のロック氷を加工せず加えること等を可能とする事としたことから、2019年7月18日に「大阪市露店による食品営業取扱要綱」を一部改正し、氷の使用を可能としました。

【大阪市ホームページ「露店営業及び臨時出店について」】
https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000477021.html

【施策への想い】

氷の入った冷たい飲み物を提供できれば、夏場のイベントの参加者も喜び、活性化にもつながるのではないかと思っております。

一部ご紹介 過去の実績

民間企業の教育手法を取り入れた実践型ICT 教育阿倍野区版STEM教育スタート!!(全国初)阿倍野区から世界へ!!(日本のモノづくりの礎に)

阿倍野区と世界的玩具メーカーレゴジャパン株式会社レゴエデュケーションが新しい質の高い教育実現に向けた包括協定を2014年に締結しました(行政区としては全国初)。さらに、この協定に関し、この2者に加え大阪教育大学科学教育センターと阿倍野区内の大阪市立の幼稚園、小・中・高校で構成する阿倍野区公立学校新教材活用研究会が連携推進の取組みに向け覚書を結びました。

LGBT に関する支援施策の推進 私の質疑が新聞等にも取り上げられましたが、大阪市会史上初日に、LGBT に関する質疑を行い、施策推進の要望を行い、「大阪市パートナーシップ宣誓証明制度」に向け言及を行いました

LGBT、いわゆる性的少数者に配慮した取組みについて、以前から課題認識を持ち、2016年から、関係各局と議論していた内容です。質疑する機会がなかなか持てず、ようやく 2017年・財政総務委員会にて、LGBT に関しては大阪市会史上初日となる質疑をさせて頂きました。大阪市として、積極的に取組む様に、強く要望させて頂きました。

阪南地域防災活動拠点の整備「阪南公設市場跡地」が、地域防災活動拠点(一時避難場所)となる「阪南播磨公園」として整備されました ~2018年4月1日、【阪南播磨公園】竣工記念式典が行われました~

2014年11月、橋下前市長の該当地売却方針から一転、「防災公園として位置付けた整備の方向に」と表明し、その方針を吉村新市長が踏襲し、『阿倍野区防災空間整備事業』として事業化されることが確定しました。その結果、2018年4月1日、阪南地域の住民の皆様2,676名分の署名活動の甲斐あり、私も賛同しておりました要望通り、「阪南公設市場跡地」が、地域防災活動拠点(一時避難場所)となる「阪南播磨公園」として整備されました。今後は住民の皆様と市・区・消防局を含めた関係各局とが協議し、災害時には一時避難所として、また、日頃は地域防災活動や地域活動の場としても使える防災公園として機能します。

美章園駅前『道路予定地』の駐輪場への有効活用 期間限定ではあるものの、放置自転車対策の一環として、約130台分を設置する事により、通行者の安全を確保

地域の方から要望を受け、私も必要性を感じ、関係各局に要望させて頂き、美章園駅付近・美章園地域にあります『道路予定地』の活用として、約130台分の駐輪場を設置する事になりました。

阿倍野筋の一部のバス停 天王寺町南一丁目(西行) 天王寺町南二丁目(東行) のバス停が、税金投入なしで生まれ変わりました

要望があり、広告付きバスシェルターを設置させて頂いた阿倍野筋に続き、地域の要望により、天王寺町南一丁目(西行)、天王寺町南二丁目(東行)のバス停が、雨風にも安心な広告付きバスシェルターとして生まれ変わりました。

阿倍野区内の収容避難所に防災用発電機が設置されました ~今後起こりうる大災害にしっかりと対策~

区長へ強い要望を行い、阿倍野区の平成27年度の運営方針で、収容避難所等に本格的な防災用発電機を設置する事となりました。

安心して遊び、交流できる公園として公園ゴミの収集体制を見直しました

住民のみなさんからの要望を受け、阿倍野区内の公園において、収集日が祝日の場合、翌日に収集するよう民間業者との契約を見直し、2017年11月より必ず週2回収集するように収集体制が見直されました。